

平成29年度 第36回全国高校生建築製図コンクール結果報告

製図コンクール運営委員長 ト部 寿々子

第36回全国高校生建築製図コンクールには、東日本建築教育研究会の加盟校および加盟校以外の先生方から、校務ご多忙にもかかわらず絶大なるご協力を頂きました事を厚くお礼申しあげます。

[I] 応募状況

1 応募校数

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28
55校	53校	52校	50校	3校	3校	47校	48校	3校	3校	5校	2校	0校	0校

2 応募作品数

課題名	加盟校別	回数	学校数・作品数		全日制・作品数		定時制・作品数	
課題1	加盟校	H29	42校	104点	39校	99点	3校	5点
		H28	43校	115点	41校	111点	2校	4点
	加盟校以外	H29	4校	9点	4校	9点	0校	0点
		H28	2校	6点	2校	6点	0校	0点
課題2	加盟校	H29	14校	32点	14校	32点	0校	0点
		H28	12校	29点	12校	29点	0校	0点
	加盟校以外	H29	2校	6点	2校	6点	0校	0点
		H28	1校	3点	1校	3点	0校	0点
課題3	加盟校	H29	23校	53点	22校	52点	1校	1点
		H28	26校	59点	24校	56点	2校	3点
	加盟校以外	H29	1校	3点	1校	3点	0校	0点
		H28	1校	1点	1校	1点	0校	0点
課題4	加盟校	H29	13校	31点	13校	31点	0校	0点
		H28	8校	18点	8校	18点	0校	0点
	加盟校以外	H29	2校	5点	2校	5点	0校	0点
		H28	1校	3点	1校	3点	0校	0点
課題5	加盟校	H29	7校	16点	7校	16点	0校	0点
		H28	8校	16点	8校	16点	0校	0点
	加盟校以外	H29	1校	3点	1校	3点	0校	0点
		H28	1校	3点	1校	3点	0校	0点
応募校計		H29	262点 (加盟校 236点・加盟校以外 26点)					
		H28	253点 (加盟校 237点・加盟校以外 16点)					

3 校内作品審査数の総計

		課題 1	課題 2	課題 3	課題 4	課題 5
加盟校	H29	1,352点	374点	551点	56点	33点
	H28	1,227点	339点	670点	70点	22点
加盟校 以外	H29	13点	17点	4点	17点	3点
	H28	12点	3点	1点	5点	4点
応募校計	H29	1,365点	391点	515点	73点	36点
	H28	1,239点	342点	671点	75点	26点

[II] 入賞者

	賞	学校名	科名学年	生徒氏名
課題 1 : 軒先マワリ詳細図				
1	金賞	岐阜県立岐南工業高等学校	建築科 1 年	長屋 百美
2	銀賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科 1 年	小川 楓加
3	銀賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 1 年	服部 真央
4	銀賞	宮城県白石工業高等学校	建築科 1 年	高橋 凜
5	銅賞	静岡県立浜松工業高等学校	建築科 1 年	森下 彩里
6	銅賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科 1 年	阿部 純香
7	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築・土木科 1 年	林 茉莉那
8	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 1 年	馬淵 華すみ
9	入賞	長野県飯田 OIDE 長姫高等学校	建築学科 1 年	斎藤 彩
10	入賞	長野県飯田 OIDE 長姫高等学校	建築学科 1 年	塩澤 望夢
11	入賞	長野県飯田 OIDE 長姫高等学校	建築学科 1 年	代田 裕紀乃
12	入賞	群馬県立前橋工業高等学校	建築科 1 年	高野 翔
13	入賞	群馬県立前橋工業高等学校	建築科 1 年	高藤 颯人
14	入賞	群馬県立前橋工業高等学校	建築科 1 年	眞下 味季
15	入賞	仙台市立仙台工業高等学校定時制	建築土木科 2 年	千葉 龍多
課題 2 : 木造平家建専用住宅				
1	金賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科 2 年	山本 芽依
2	銀賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 2 年	齋藤 桃香
3	銀賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科 2 年	大島 綺音
4	銅賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 2 年	足立 紗也
5	銅賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築デザイン科 2 年	櫻井 詞音
6	銅賞	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	魚住 龍矢
7	入賞	長野県飯田 OIDE 長姫高等学校	建築学科 2 年	織田 渚
8	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科 2 年	杉浦 丹歌
9	入賞	岐阜県立中津川工業高等学校	建設工学科 2 年	大山 和彦
10	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科 2 年	志村 遥稀
11	入賞	岐阜県立岐南工業高等学校	建築科 2 年	中村 華奈未
12	入賞	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	宮谷 昂規
13	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科 2 年	高橋 美結

課題3：木造2階建専用住宅				
1	銀賞	静岡県立浜松工業高等学校	建築科2年	太田 空
2	銅賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科3年	内田 陸斗
3	銅賞	静岡県立浜松工業高等学校	建築科2年	藤原 綾乃
4	銅賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科3年	加藤 智優
5	銅賞	愛知県立碧南工業高等学校	建築科3年	石垣 遼大
6	銅賞	愛知県立碧南工業高等学校	建築科3年	兵藤 和誌
7	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	竹内 胡遥梨
8	入賞	宮城県石巻工業高等学校	建築科2年	佐々木 あすか
9	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科3年	増田 葵
10	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	大島 綺音
11	入賞	宮城県石巻工業高等学校	建築科2年	遠藤 悠
12	入賞	静岡県立沼津工業高等学校定時制	工業技術科3年	高木 陸
課題4：木造平家建専用住宅（CAD製図）				
1	金賞	松山聖陵高等学校	建築科2年	池田 勇介
2	銀賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	三好 玲生
3	銅賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	中矢 桂太
4	銅賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	濱 大智
5	銅賞	愛知県立愛知工業高等学校	建設科3年	向家 慶一
6	入賞	愛知県立愛知工業高等学校	建設科3年	原田 幸太郎
7	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	伊藤 拓翔
8	入賞	愛知県立愛知工業高等学校	建設科3年	平野 純也
課題5：木造2階建専用住宅（プレゼンテーション作品）				
1	金賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	小山 勇斗
2	銀賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科3年	武井 杏奈
3	銀賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科3年	伊勢 桃香
4	銀賞	愛知県立佐織工業高等学校	建築科3年	上家 大季
5	銅賞	岐阜県立可児工業高等学校	建設工学科3年	小池 久遠
6	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	後藤 拓実
7	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	米倉 颯太
8	入賞	岐阜県立可児工業高等学校	建設工学科3年	堀江 愛佳
9	入賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	羽藤 潤
10	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科3年	石垣 彩花
11	入賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	品尾 智子

[Ⅲ] 審査

1 賞の選出

- (1) 各課題最高作品を金賞とし、順次銀賞銅賞入賞とする。
- (2) 各課題定時制課程参加作品から入賞以上を選出する。

2 審査方法

(1) 一次審査

- ア 審査は委員全員で行う。
- イ 原図を使用する。
- ウ 各課題参加数の1/5程度(最大20点程度)を目安に絞り、入賞作品の対象とする。
- エ 審査基準は、各課題の観点に従う。
- オ 作品を相対的に比較する。

(2) 二次審査

- ア 審査は委員全員で行う。
- イ 表題欄をカットする。
- ウ 複写図面を使用し、チェックを書き込む。
- エ 入賞作品以外の作品で再度入賞以上に該当するものがないか確認する。

(3) 最終決定

- ア 最終決定を投票で行う。

3 課題別審査の観点

(1) 課題1「軒先マワリ詳細図」

注意：最新版の教科書を用いているか。

- ア 図が正確に描かれているか。(部材の大きさや厚み・金物等の形状・部材相互の距離等)
- イ 明瞭な図であるか。(線の使い分け・線の始端から終端までが均一な太さ、濃さであるか)
- ウ 文字や数字は明瞭で正確であるか。(抜けている、大きすぎる、小さすぎる、形状がバラバラ等)
- エ その他

松丸太に関して

- ・太鼓落しを表現する曲線はフリーハンドより定規使用の方が良い。
- ※ただし曲線がフリーハンドで描かれていても失格ではない。

野縁に関して

- ・位置は軒桁中心から測られているか。

天井に関して

- ・位置が製図例2-6に基づいているか。

線の使い方に関して

- ・下書き線が濃すぎないか。
- ・仕上げ線(断面線)が極端に太すぎないか。

(2) 課題2「木造平家建専用住宅」

- ア 敷地の配置、外構計画に工夫があるか。
- イ 平面図は正確に描かれているか。(教科書第3章に準じているか)
- ウ 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類、位置等が平面図と異なっていないか)
- エ 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)

- オ 屋根の形状に工夫があるか。（機能を充たす屋根の形状であるか）
- カ 図面相互に違いがないか。
- キ 明瞭な図であるか。（線の使い分けが正しいか）
- ク 製図規約を重視しているか。
- ケ その他

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線，隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・隣地境界線を実線で描く等，線の使い方を間違えていないか。
- ・床の仕上げを表現していないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。

立面図に関して

- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・平面図に記された切断線の位置との違いがないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。
- ・ロフトの天井が極端に高くないか。

屋根伏図に関して

- ・水勾配や寸法が記入されているか。
- ・屋根仕上げに用いた材料名称が描かれているか。
- ・断面線の表示がされているか。

(3) 課題3「木造2階建専用住宅」

- ア 計画性を重視する。
- イ 配置・平面・立面・断面・外構の計画に工夫があり機能的であるか。
- ウ 構造的に無理がないか。
- エ 製図規約に配慮しているか。
- オ その他

設計主旨に関して

- ・主旨と計画に違いがないか。

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線，隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・家族構成に対して，所要室や各室の面積に配慮しているか。
- ・将来的に高齢者に配慮した計画であるか。
- ・外構計画において高低差に配慮しているか。
- ・車と駐車スペースの大きさや表記方法に違いがないか。
- ・平面図に家具が記入されているか。
- ・平面図に柱や通し柱が抜けていないか。
- ・平面図に記された階段の段数は正確か。
- ・平面図に記された階段には，手すりを設けているか。

立面図に関して

- ・平面図との違いがないか。
- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・切断位置が開口部を含む位置であるか。

- ・形状が不適切でないか。(異常に高すぎる, 低すぎる)
- ・高さに関する寸法の記入があるか。

(4) 課題4「木造平家建専用住宅」(CAD製図)

注意: 2枚提出されているか。(1枚しか提出されていない場合は失格とする)

- ア 敷地の形状や配置・外構計画に工夫があるか。
- イ 平面図は正確に描かれているか。(教科書第3章に準じているか)
- ウ 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類, 位置等が平面図と異なっていないか)
- エ 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)
- オ 屋根の形状に工夫があるか。(機能を充たす屋根の形状であるか)
- カ 図面相互に食い違いがないか。
- キ 明瞭な図であるか。(線の使い分けが正しいか)
- ク 製図規約を重視しているか。
- ケ その他
 - ・ロフトを計画した場合は, それを平面図や断面図等に描いているか。
 - ・手書き表現で描かれているか。(CAD特有の表現のままでないか)

(5) 課題5「木造2階建専用住宅」(プレゼンテーション作品)

注意: 2枚提出されているか。(1枚しか提出されていない場合は失格とする)

- ア プレゼンテーション・表現を重視する。(プレゼンテーションと作りだされている作品が一致しているか)
 - ・パース, 模型, 説明, 着色等で判断する。
- イ 製図規約については重視しない。
- ウ その他
 - ・計画や表現はオリジナリティがあるか。
 - ・各図面間での整合性はあるか。
 - ・縮尺については重視しない。
 - ・表面に氏名等を記入しない。

[IV] 審査講評

課題1 軒先マワリ詳細図

金賞図面は、線の使い分けが大変素晴らしくメリハリがあり、特に太線が美しい作品でした。また、文字も整っており、美しい作品でした。

金賞以外の図面についても、全体的に丁寧に描かれている作品が多く見受けられたが、線が弱々しく見える作品もありました。また、図面は美しいのに、単純なスケールの読み間違いが多数あり、非常に残念でした。

【アドバイス】

次年度は、スケールの読み方を今一度確認していただき、基本的なことを習得してください。併せて、図面の汚れも目立ちましたので、図面をきれいに美しく仕上げるための努力をしてください。

課題2 木造平家建専用住宅

金賞図面は、造園計画をしっかり行っており、表現力に優れ、細部までこだわっている作品で、作図力も優れている作品でした。

金賞以外の図面についても、図面がきれいで発想力がよく、庭を歩くことが楽しめそうな図面や丁寧に作図されている作品もある一方で、屋根仕上げ材料の名称や水勾配がない作品やロフトの位置を平面図に記載していない作品も多く見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、要項の注意事項を確認し基本的なことを理解していただき、計画性のある表現力の高い作品を期待します。

課題3 木造2階建専用住宅

金賞図面は、ありませんでした。あともう一步という作品ばかりでした。

金賞以外の図面についても、作図力があり、表現力も高い作品も見受けられたが、階段の表記や手すりそして、必要な柱が記載されていない作品も多く見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、作図力の向上だけでなく、道路との関係性や空間的な広がりや繋がり等を考えた作品を期待します。

課題4 木造平家建専用住宅（CAD製図）

金賞図面は、CADの特性を活かしつつ工夫をし、かつ、根気強く描かれ、総合的に判断した作品でした。ただ、漢字間違いや平面図が庭に消されるくらい細かく表現されている点は、手が込んでいる分、少し勿体ないと感じる作品でした。

金賞以外の図面についても、CADならではの作品や屋根を工夫した作品が見られた一方で、CADに頼り過ぎて基本的な作図力が乏しい作品も見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、基本的な作図を心掛け、計画性のある作品を期待します。

課題5 木造2階建専用住宅（プレゼンテーション作品）

金賞図面は、コンセプトがきちんと表現できている作品で、プランがよく考えられており、全体的にしっかりまとまった作品でした。また、パースの表現も取り入れ、わかりやすいプレゼンテーション作品でした。

金賞以外の図面についても、ダイナミックで美しい作品や空間の使い方を考えている作品や、全体的にまとめられている作品が見受けられました。

【アドバイス】

次年度は、プレゼンテーション作品ならではのプランを考え、様々な挑戦をした作品を期待します。

[V] 平成30年度に向けて

- 1 課題1 軒先マワリ詳細図
平成29年度 新課程版教科書発刊に伴う、製図例の変更。
平成30年度 例年通りとする。

- 2 課題2 木造平家建専用住宅
平成29年度 新課程版教科書発刊に伴う、製図例の変更。図面に一部変更有り。
平成30年度 例年通りとするが、図面に一部変更有り。

- 3 課題3 木造2階建専用住宅
平成29年度 法規・構造に配慮した、個性的な作品を期待する。
平成30年度 例年通りとする。

- 4 課題4 木造平家建専用住宅（CAD製図）
平成29年度 課題2を手書きの表現で作図するCAD製図。図面に一部変更有り。
平成30年度 例年通りとするが、図面に一部変更有り。

- 5 課題5 木造2階建専用住宅（プレゼンテーション作品）
平成29年度 プレゼンテーションを重視した作品。
平成30年度 例年通りとする。

- 6 共通事項 課題1～課題4の表題欄に課題番号を記入する。

今年度も審査講評を参考にいただき、ご応募くださるようお願い申し上げます。なお、ホームページに各課題の金賞作品を記載しております。

製図コンクール運営委員

	佐藤 康雄 (神奈川工定)	高野 史晃 (真岡工)	
(製図分科会)	村井 和幸 (新潟県央工)	笹崎 ひろみ (墨田工)	中曽根 康 (高崎工)
	國島 かほり (神奈川工)		
(計画分科会)	荒木 宏道 (館林商工)	畠山 弘幸 (石巻工)	
	田村 雄志 (川崎総合科学)		
(法規分科会)	大木 英男 (藤沢工科)	萱沼 俊一 (白石工)	
(構造分科会)	鈴木 隆 (田無工)	松本 紗苗 (総合工科)	
(施工分科会)	吉村 公利 (大宮工)	平柳 政幸 (日工大駒場)	

平成30年4月2日
製図コンクール運営委員長
卜部 寿々子